

地域おこしを手伝ってくれる人たちが、
大崎町に移り住みました。

大崎町協力隊通信

vol.

16

令和6年5月1日づけで地域おこし協力隊として大崎町に着任しました。高辻朝基です。よろしくお願ひします。出身は兵庫県の三田市というところで山に囲まれた市で育ちました。大学時代は大阪の大東市というところで過ごしていました。また中学2年生の頃からバレーボールを始め高校・大学と全国大会に出場しておりました。昨シーズンから兵庫デルフィーノというVリーグのチームに所属しています。身長が192cmありますので街で見かけましたら声をかけていただけると嬉しいです。大崎町の力になれるように頑張りますのでよろしくお願ひします。



この度、大崎町地域おこし協力隊の一員として任命されました、福岡県出身の釘本華代と申します。下の名前と呼ばれることが多く、ハナと覚えていただけたら嬉しいです。幼い頃から色々なスポーツに興味があり、何でもやってみよう！の精神で朝から晩まで動きまわる活発すぎる幼少期でした。その気持ちは大人になってからも変わらず、まだまだ元気いっぱいです。大学では、保育を専攻しましたが、今しかできないことを全力でやる!!!を優先してしまい旅人になっていました。(笑) そんな濃い5年を過ごし日本各地にたくさん、友達もでき、旅の中でカンボジアの学校建設のボランティアで出会った子どもたちと関わる中での子どもたちのキラキラした目を見た瞬間に『私、子どもにかかわる仕事をしよう。』がきっかけで地元に戻りスポーツに特化した保育園に就職し12年体操指導を中心とした保育士として働いていました。今回ご縁があり、この大崎町に移住しました。子どもたちへの運動指導の経験を活かし大崎の子どもたちとたくさん関わりスポーツ(運動)の架け橋になれるように頑張りたいと思います。大崎町の子どもたちのキラキラした姿とたくさん触れ合っていければと思います。気軽にどんどん声かけてくださいね。よろしくお願ひします。



こんにちは、大崎町の皆さん！カナダから来ました渡辺みなみです。私は日本人とトリニダード・トバゴ人のハーフです。昨年の9月に初めて日本に引っ越して、福岡でプロバレーボールをプレーするためにやって来ました。日本が大好きになり、しばらくここに滞在することに決めました。運動をしないと不安になりやすいので、朝や夜に散歩をしたり、毎日一度は運動するようにしています。健康が私の最大の関心事で、健康でなければ人生は楽しめないなので、一呼吸、一歩、一日を大切に、目的を追求する日々を大事にしています。私は英語で話せますので、英語とスポーツを掛け合わせたEnglishスポーツを通じてこれから世界に羽ばたく子どもたちや皆さんと交流していきたいと思います。今年、私は日本初のプロバレーボールを通じた町おこしプログラムの一員に選ばれました。このプログラムに参加できることは大変光栄で、スポーツ以外の分野でもどのように貢献できるかを楽しみにしています。



令和6年度大崎町地域おこし協力隊として採用されました藤永良典と申します。長崎出身で、大学卒業後は俳優になりたくて劇団を立ち上げました。時代劇専門の劇団で、殺陣師をしておりました。残念ながら、お客様に良いモノを観せたいとの思いが強すぎて収支のバランスが激しく崩れ、毎回満員御礼になるも大赤字という状態で、畳んでしまいました。27歳からは、整骨院の道に進み、柔道整復師の資格をとり、40歳まで3社の整骨院で勤めました。その後は生命保険の営業をやりつつ出張整体などをして生計を立てていました。今回はご縁があつて大崎町に来ましたが、「笑顔にさせる」という信念で今までやってきましたので、その信念はそのままだ大崎町の町民のお役に立てられるように微力ながらも活動していきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

